

国立大学法人
兵庫教育大学広報誌
<http://www.hyogo-u.ac.jp>

教育 子午線

Kyoiku-Shigosen

June, 2011
vol.26



兵庫教育大学

◎研究レポート
竹西亞古

スティグマ化された
リスクの知覚
感情と公正の
ヒューリスティックモデル

◎教育最前線

新学習指導要領がスタート

知識や技能の習得とともに
思考力・判断力・表現力の
育成を重視

◎ワタシのイチオシ
◎うれしの交差点



今年4月から全面实施された小学校の新学習指導要領は、21世紀の知識基盤社会において「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」から成る「生きる力」の育成に主眼を置いている。これからの教育は「ゆとり」でも「詰め込み」でもなく、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力の育成が重要とされる。

新学習指導要領の理念

平成20(2008)年1月の中央教育審議会答申では、「知識基盤社会」の時代といわれる社会の構造的な変化の中で、「生きる力」を育むという理念はますます重要になってきているとして、前回に引き続き「生きる力」の育成を理念としている。

ここでいう「生きる力」と



は基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力である「確かな学力」、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな人間性」、たくましく生きるための健康や体力である「健康・体力」の三つから成るものであり、これらを調和的に育むことが重要である。

教育内容の主な改善事項

第一に言語活動の充実。国語をはじめ各教科などで記録、説明、批評、論述、討論などの学習を充実する。

第二に理数教育の充実。国際の通用性や内容の系統性の観点から、算数で台形の面積などの指導内容を改善したり、



反復による指導や観察・実験を増やしたりする。

第三に伝統や文化に関する教育の充実。国語でのことわざ、社会での歴史教育、算数でのそろばん、音楽での和楽器、総合的な学習の時間での例示としての地域の伝統や文化に関する学習などが挙げられる。さらに道徳教育や体験活動、外国語教育の充実も図る。

「習得・活用・探究」という学習活動の種類

教科では「習得・活用」によって基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などを育成する。また、総合的な学習の時間を中心とした「探究」によって主体的に学習に取り組む態

教育最前線

新学習指導要領がスタート

知識や技能の習得とともに 思考力・判断力・表現力の 育成を重視



さとう しん
佐藤真

授業実践リーダーコース教授

度や意欲などを育むことが重要である。

新学習指導要領を踏まえた 評価観点の設定

新学習指導要領の実施に伴

い、学習評価も新しい四つの観点、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」が設定された。これは、各教科の内容に即して思考・判断したことについて、その内容を言語活動を中心とする表現に

係る活動と一体的に評価する観点として「思考・判断・表現」を設定したものである。

※知識基盤社会
平成17(2005)年に中央教育審議会が「21世紀は知識基盤社会の時代」と述べた。「新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会」であると言われており、特質としては、知識には国境がなくグローバル化が一層進む、知識は日進月歩であり競争と技術革新が絶え間なく生まれるなどが挙げられている。

「生きる力」の概念図

新学習指導要領の理念である「生きる力」は知・徳・体のバランスのとれた力を指す

確かな学力

基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

生きる力

豊かな人間性

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など

健康・体力

たくましく生きるための健康や体力

小学校の学習指導要領改訂のポイント

「生きる力」を育むという理念の継承

【改訂の基本的考え方】

*教育基本法改正等で明確になった教育理念を踏まえ、「生きる力」を育成する

知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視する

道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する

授業時数を増加

国語、社会、算数、理科、体育の授業時数を10%程度増加
週当たりのコマ数を低学年で週2コマ、中・高学年で週1コマ増加

教育内容の見直し

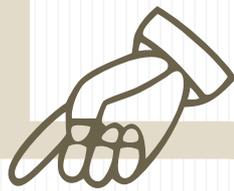
教育内容の主な改善事項

- 言語活動の充実
- 理数教育の充実
- 伝統や文化に関する教育の充実
- 道徳教育の充実
- 体験活動の充実
- 外国語教育の充実
- 社会の進展に対応した教育

※教育基本法改正

平成18(2006)年12月15日成立、22日公布・施行。約60年ぶりに改正された。「人格の完成」や「個人の尊厳」など、これまでの教育基本法に掲げられてきた普遍的な理念は大切にしつつ、新しい時代の教育の基本理念を明示。





厚くなった 教科書から見える 知識基盤社会に 向けた学習指導

今春の新学習指導要領の実施に合わせて教科書がずいぶん厚くなった。新学習指導要領の改訂点を一言で表せば「知識基盤社会を生き抜いていく子どもを育てること」に尽きるのではないだろうか。そのために今回の改訂では基礎的・基本的な知識・技能の習得が重視されたと理解している。知識量が減ったことの反動で内容が増やされ、教科書が厚くなったわけではない。知識基盤社会を生き抜いていくために、習得した知識が社会との接点を持ちつつ、社会そのものをつくり出していく学びが求められているのである。

「オーセンティック」という言葉がある。一昔前は「アセスメント」という言葉と結び付いて「オーセンティック・アセスメント(真正の評価)」として使われてきた。これは標準テストへの批判を背景として広まったものだが、現実生活においては、特定の問題の解決のためには特定の文脈の中で自分の知力や知識・技能が試されるとする立場に立つ評価である。最近では、オーセンティックが「ラーニング」と結び付いて使われることもある。やはり現実生活の文脈の中で、状況論を援用しつつ学習活動を展開させていこうとする試みである。「オーセンティック・ラーニング(真正の学習)」の研究は緒に就いたばかり。昨年度、教職大学院授業実践リーダーコースの学生が、日本では数少ない実践研究者の一人として名乗りを挙げた。

教科書が厚くなり、知識量が増えた今だからこそ、新学習指導要領がめざす知識基盤社会に向けた学習指導の在り方が問われている。その一つの可能性として、オーセンティック・ラーニングは注目されていくと思われる。



まつもと しんじ
松本伸示

授業実践リーダーコース教授

教育最前線

新学習指導要領で ココが変わる

Yodozawa Katsuji

Matsumoto Shinji

言語活動の 一環として 「合意形成型 道徳学習」を



よどざわ かつじ
淀澤勝治

心の教育実践コース准教授

出題を工夫し 子どもの 「なぜ？」を 引き出す



もり やす き
森泰樹
附属小学校教諭



新 学習指導要領の算数科の目標に「筋道を立てて考え、表現する能力を育てる」とある。「筋道立てて考えること」は以前から大切にされてきたことだが、「表現する能力を育むこと」が強調されたことが今回の改訂の大きな特徴である。私なりにこのねらいを解釈すると、「表現するときには必ず思考は伴う。だから、表現することを目標に位置付け、それを評価することを繰り返していけば、結果的に思考力も育むことにつながっている」となる。

附属小学校算数部では以前から、算数における子どもたちの表現を「算数的な表現」として位置付けてきた。算数的な表現とは「操作的・図的・言語的・記号的」な表現である。このたびの改訂を受け、今まで以上に表現する能力を育むことを重視し、具体を示していくことが求められる。下記は昨年度の研究大会で提案した内容の一部である。

1 子どもと教材とのかかわりを重視する

教員が提示する「課題」が、子どもの「問い」となるように課題の出合わせ方を工夫する。例えば、割り算の授業で「あめが袋に□個入っています。3個ずつ分けました。何人に分けられるでしょう」と、□を使った問題を提示した時、子どもたちはどんな反応をするだろうか。おそらく、子どもたちからは「もし～なら」「でも、それだったら～」などの気づきの言葉が出てくるだろう。このように出会いを演出することで、子どもの「なぜ？」を引き出し、自分の考えを表現するきっかけとなると考える。そのほかにも次のことを意識して実践を積み重ねている。

- ◆子どもの数量感覚を刺激する…「何かありそうだ」「あれとあれは似ている」などの感覚
- ◆子どもの声を引き出す…「あっ」「あれっ」などの驚き、「なぜ？」という疑問の声
- ◆子どもの算数観を変える…答えは一つ、答えを求めさえすればいいという見方を変える

2 子どものたどたどしい表現を認める

一生懸命説明をしているけれど、なかなか相手に伝わらないことがある。伝わらないことは、解決の過程なので、むしろ自然なことだと考えられる。だから、そのことを認識し、大きな構えで子どもたちの表現を受容し、聞くことが大切である。その姿勢が子どもたちに安心感を与え、自然な発想を表出させることにつながると考える。

新 学習指導要領では言語活動の充実が唱えられている。道徳教育では、主としてコミュニケーション能力や思考力、判断力、さらには感性・情緒の基盤となる言語力の育成に力を注がなければならない。道徳の授業は、資料からじっくりと主人公の心の変容を読み取り、それについてクラスで話し合い、自分の考えを書き留めたりすることが多い。すなわち、言語力の育成に役立つ活動が多いといえる。では、具体的にどうすれば子どもたちの言語力の育成を促進できるだろうか。いくつかの観点の中から「話し合い活動の充実」に絞って論じてみたい。

「話し合い」や「討論」を仕組んでいくうえで最も重要なのは、課題解決的学習にすることである。話し合い活動が活発で、とても意欲的に学習に取り組んでいる研究授業に出合うことがある。しかし、よく観察してみると、一見話し合っているようだが、まったく相手の話を聞かず、自分の意見や考えを話すことに終始してしまっている場合が多い。それは、子どもたちの意識の中に課題解決的な思考がなかったり、互いに合意・了解しようとする思考がなかったりするからだ。そこで提案したいのが「合意形成型道徳学習」である。

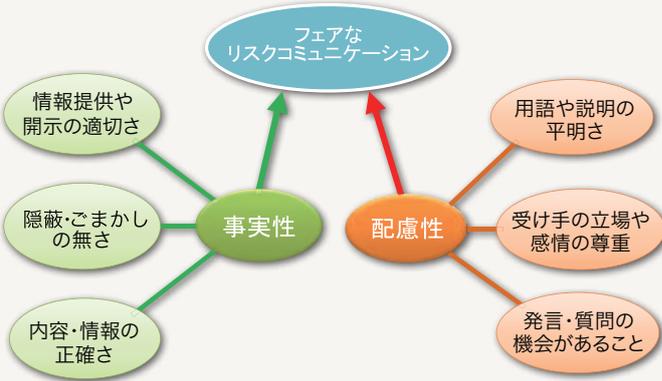
具体的には、道徳的葛藤を扱った資料を用意し、主人公の悩みの訳について考えさせ、「主人公はどうすべきか」について話し合う。その際、「クラス全員全員の合意・了解を求める」ことが大切である。みんなが合意・了解してつくり上げた規範や価値は、日常生活でも生きてくるものと考えられる。なぜならば、全員で納得できる課題解決の方法とその根拠について話し合ったのだから、それに従うのは当然のことである。これは、いわゆる道徳的実践力と道徳的実践の融合にもつながると考えるがいかがだろうか。





たけにし あこ
竹西亜古
心の教育実践コース教授

このページでは日本学術振興会の科学研究費補助金を受けた研究を紹介します。科学研究費補助金とは、すべての分野の「学術研究」を段階に発展させることを目的に、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究などに分かれており、基盤研究は1人または複数の研究者が共同で行う研究が対象。研究期間は3～5年です。



【図1】フェアなリスクコミュニケーションの要素
竹西ら(2008)より作成

ステイグマ化されたリスクの知覚 感情と公正のヒューリスティックモデル

(平成19～22年度科学研究費補助金・基盤研究に採択)

この春ほど「リスク」という言葉を頻繁に耳にした覚えはありません。未曾有の大震災で多くの尊い命が奪われ、その上に日本がいまだかつて体験したことがなかった大きな原子力災害までもが加わりました。うららかな陽

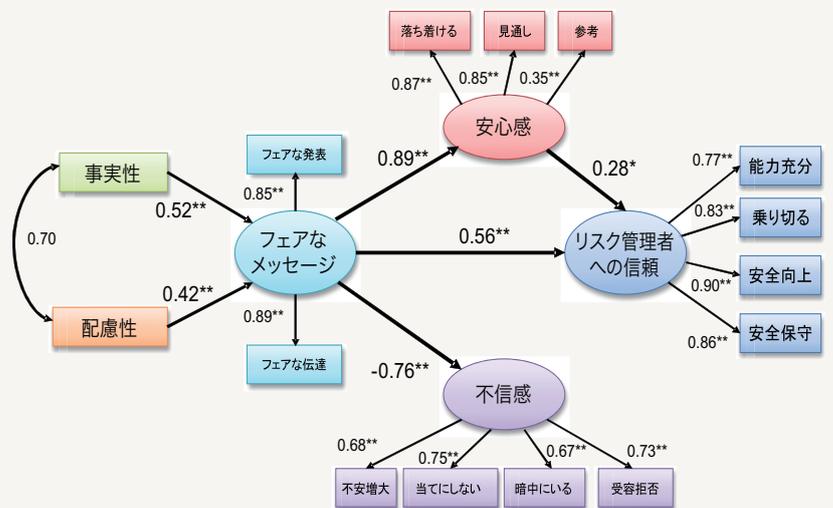
光の下、多くの人が人生の新たなスタートを切る季節になったということでしょう。この研究はリスク心理学と呼ばれる分野の研究です。リスク心理学では、社会にあるさまざまな物や事象に対して人々が抱く「危険感・安全感」を把握することから始めます。危険感や安全感は、その対象に関わる人の行動を左右し、現実の安全性に直結するからです。三陸のある町では明治以降の津波の経験から世界最大規模の防潮堤を築いていました。それにもかかわらず今回の震災では甚大な被害に遭ってしまいました。一方、防潮堤を持たず津波に極めて弱いとされていた町がありました。そこでは全員が地震直後高台に避難して人的被害が最小限にとどまりました。この二つの町の違いは防潮堤の有無によって生じた津波に対する危険感、すなわちリスク知覚の違いであったでしょう。人々のリスク知覚は、現実

のリスクの大きさとずれることが多いのです。この研究では、ずれがなぜ生じるのか、どのような心理過程を経て起きるのかを明らかにしました。その上でリスクの大きさやリスクに関する情報を伝える「リスクコミュニケーション」をどう行えば、人々が安全を過信することも、またいたずらに恐れることもなく、リスクを理解し対処できるのかを検証してきました。

現在、日々刻々と行われている原子力災害の発表はリスクコミュニケーションに他なりません。研究の結論からいうと、リスクコミュニケーションは公正であることが極めて重要です。そして公正であるためには、事実を正確に把握し伝えること、受け手の感情や立場に配慮することの両面が欠かせません【図1】。これを踏まえて、原発とその管理者に対する人々の心理過程を構造方程式モデリングとい

う統計手法で分析した結果が【図2】です。今回の事故以前の分析ですが、リスクコミュニケーションに事実性と配慮性を感じるほど、人々はリスク管理者が公正であると感じ、そのことが不安を減らし、将来的信頼に結びつく心理過程が明らかにされています。

さて、今回の原子力災害に関する国や電力会社の発表は、事実性と配慮性を満たしているでしょうか。現場の苦悩と混乱と努力を差し引いても、残念ながら及第点は付けられません。一人一人がリスクを理解し適切な行動選択をするためにも、リスクを正しく管理し社会に伝えるためにも、人々の心理過程の解明は重要です。一日も早い原子力災害の収束と被災地の復興を祈りつつ、研究をさらに発展させたいと切に感じています。



【図2】原発リスクにおいてフェアなコミュニケーションが管理者信頼を高める心理過程
(構造方程式モデリングによる解析結果)
RMSEA=0.061 n=421 ** p<0.01 * p<0.05 竹西ら(2006)より作成

PR

オーストラリアの特異点の研究者たちと定期的に発表の機会を設けており、11月22日～25日に神戸サテライトで4回目となる「日豪特異点研究集会」を開催する。ホスト役としてこれから準備に忙しくなる。「数学分野の学生はもちろん、一般の人も自由に出入りできます。でも、内容が分かる人は少ないでしょうね(笑)」

つかみはOK?

ラジコンのSLも立派な教材。複数の円盤をつなぐ連結棒上の点は、円盤が回転するときどのような曲線を描くのかという内容を講義する際、「つかみ」として用いる。「SLの車輪の構造が最も分かりやすいのです」。ちなみに研究費での購入を申請したところ、事務から「私用には使えない」と、一旦は却下されたという。



世界を股にかける男

「数学の研究者に国境はありません。研究の目的が合えば各国の人と共同で取り組みます」。これまで世界各地の大学に向向ってきた。特にオーストラリアには20回以上も渡っており、シドニー大学の研究仲間の推薦でオーストラリアの永住権を取得している。

先生に質問!

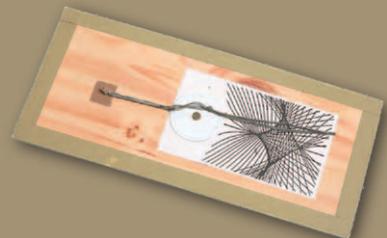
夜のくつろぎ

帰宅後、仕事の疲れを癒やしてくれるのが、熱帯魚(アメリカン・シクリッド)。子どものころから魚が好きで、実は水産試験場で働くのが夢だったとか。最近、台湾で買った小学生向けの繁体字の参考書を見るのが絶好の暇つぶし。「まだ台湾では『體』という字が普通に使われています。『體育館』の看板を見て、体育の授業にびったりだなと思いました」



カタストロフィーマシーン

英国の数学者、ジーマンが考案した装置。関数のグラフを書いた台紙にゴムにつないだ円盤を配置したもので、ゴムを動かすと円盤が止まる位置にジャンプ(カタストロフィー)が起こる。カタストロフィーというと、穏やかだった人が突然ヒステリックになったり、劇で急展開によって悲劇的な結末を迎えたりといったイメージがあるが、この展開の変わり様を数量的に示す装置である。



こいけさとし 小池敏司 教授

認識形成系教育コース
[自然系教育分野(数学)]

神戸市出身。昭和52(1977)年、大阪大学を卒業後、千葉大学大学院修士課程、京都大学大学院博士課程を経て、58(1983)年に兵庫教育大学助手に就く。平成18(2006)年から現職。主に特異点論と実代数幾何学にまたがる分野を研究している。今年度は学校教育学部「幾何学I」、大学院修士課程「図形・幾何領域の算数・数学教科内容論」を担当。

Q&A

主に研究されている分野は。

A 集合や関数の特異点です。関数などで連続性のあるものが、あるポイントでは不規則な動きをする。このポイントの特異点といって多くの応用を持っています。例えば、大魚が巣に近づくとつれて小魚は逃げ回りますが、大魚が近づき過ぎると、逆に小魚は襲いかかります。この突然の変化(カタストロフィー)も特異点を用いた数学モデルで説明できます。ブラックホールも重力の特異点の一種ですね。

Q 最近の学生の学ぶ姿勢は。

A 昔も今も基本的に変わっていませんね。ただ、最近の学部生はゆとり教育を受けてきたので、一昔前と比べると入学までに学んできた量が少ない。だから、授業の出発点を一歩手前のレベルにして、基礎に時間を割くようになりました。これはどの教科にもいえるかもしれません。

Q 学生たちにメッセージを。

A 学部生やストレートマスターには数学に対する今持っている感性や発想を大切にしてください。難しい問題や予想は、ベテランよりも、若い研究者の方がよく解きます。ベテランは経験上、初めから難しいと決めつけますが、若い人は知識や経験が浅いので、それが難しいかどうかも分からず、果敢に挑みます。その結果、新しいアプローチを見つけるケースが多々あります。



かわもと よしこ
川元佳子さん

加古川市立陵北小学校主幹教諭

明石市出身。昭和55(1980)年に加古川市立小学校の教諭となり、平成16(2004)年に大学院修士課程学校心理コース(夜間クラス)に入学。19(2007)年に修了し、翌年から学校心理学コースの研究生として2年間研究に取り組んだ。



たき ゆか
瀧由佳さん

大阪市立日吉幼稚園教諭

大阪府出身。平成21(2009)年に学校教育学部幼年教育系コースを卒業し、大阪市立日吉幼稚園に着任。今年度は年中児を担当。春に新入園児を迎え、多忙な毎日過ごしている。



→道徳の時間にはソーシャルスキルトレーニングの考えを取り入れた実践をしています



学級担任として日々の実践で 研究の成果を実感しています

教員になって20年が過ぎ、いろいろな面で考えることが多くなってきました。そんな折、臨床心理士の資格を持つている校長先生から大学院を勧められました。夜間クラスに通うことになり、仕事と両立できるかどうか心配でしたが、周りの方々の理解もあつて3年間で修了。翌年から研究生となり、やり残した研究にも取り組めました。大学院では「児童・生徒に対する教師の視点に着目した学級経営支援プログラム」を研究し、現在、学級経営で

その効果を実感しています。また、兵教大主催の研修講座や兵庫県教職員研究チームなどで、多くの先生方にプログラムを体験していただく機会も与えてもらっています。これまで兵教大の「大学院同窓会会員と大学教員との共同研究」の研究費、文科省の科学研究費などの補助が受けられ、研究を続けるうえで大きな助けとなりました。今後現場で実践を続けながら、自分自身の研修のために勉強を続けていきたいと思っています。

→いつも笑顔を決めると、砂場で子どもたちとまで遊べます



私が笑顔でいれば 子どもは伸び伸びできます

幼稚園教諭になって3年目を迎えました。忙しい毎日ですが、子どもたちと一緒に過ごす時間はとても充実しています。1年目は年少児を担当し、今年度は昨年度に引き続き年中児を受け持っています。担任として常に心掛けているのは、笑顔で一人一人と向き合うことです。子どもたちは私の表情や言葉遣いをしっかりと見て聞いています。子どもたちにとって幼稚園は初めての集団生活の場であり、不安を感じることも多いです。

私が笑顔でいることで安心を与えられたらと思います。子どもたちの一年に「もう一度」はありません。保護者の方は幼稚園でわが子が成長するのを期待しています。そう思うと、責任を感じ悩むこともしばしばですが、やりがいのある職業だと実感する瞬間がたくさんあります。これからも初心を忘れずに、子ども一人一人と向き合い、走って、笑って、泣いて、喜んで…。子どもたちとのかけがえない日々を過ごしていきたいです。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第31回大学院同窓会総会岐阜大会の開催

大学院同窓会総会は毎年、各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は岐阜県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月20日④・21日⑤
- ◎会場 鶴匠の家すぎ山(岐阜市)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表、講演「岐阜の伝統文化」／杉山雅彦さん(宮内庁式部職鶴匠)、鶴飼観覧、織田信長公居館跡・岐阜城の見学

さわ たか ひろ
澤貴廣さん

学校教育学部
自然系コース2年

平成3(1991)年東京都生まれ。22(2010)年に入学。今年3月の東日本大震災の発生後、ひょうごボランティアプラザのスタッフとともに宮城県で炊き出しに参加。続いて、め組JAPANの一員として石巻市で2度にわたって支援活動に携わった。大学では講演会を開き、被災地の状況を伝え、自身の活動を報告。そのかいあってボランティアを志願する学生が増えつつあるという。



↑石巻で支援活動を共にした大学の友人5人と(左から2人が澤さん)。「近いうちに全員で再訪したいです」



キラリな人
SHINY PERSON

**誰かの役に
立てているのなら
自己マンでも
いいと思います**

3月11日、14時46分。東京に帰省する車内に

いた。「静岡辺りで止まってしまつて8時間も閉じ込められました」。実家でテレビの震災報道を見ているうちに、居ても立ってもいられなくなり、懇意にしている姫路のNPO法人に電話を掛けた。

昨春の入学以来、キャンパスの指導員など子ども相手のボランティア活動に積極的に参加してきた。中学、高校では野球に打ち込み、プロ入りを目指して考えた時期もあったという。「大学でも続けるつもりでしたが、硬式野球部がなくて断念しました。その代わり、大学4

年間は野球では得られない経験を積み、多くの人と出会って自分を成長させたいと思ひました。それがボランティア活動だったのです」

帰省してたった4日で学生寮に戻り、姫路で支援物資の仕分けを手伝った後、25日から約1週間、復興活動サポートチーム、め組JAPANの一員として宮城県石巻市に滞在。トラックで避難所周辺の

家々を回り、衣類や食料などを配った。「避難所は満員のため、家が無事だった人は受け入れてもらえず、しかも物資が十分に行き届いていませんでした」

ゴールデンウィークに入り、大学の友人5人を誘って再び石巻へ。被災家屋の泥のかき出しでは、がれきの中から汚れたアルバムや子どものおもちゃなどが出てきて、幾度となく涙がこぼれたという。

「被災地でもいろいろな人と出会い、勉強させてもらいました。そう思うとボランティア活動って自己満足なのかと。でも、それで誰かの役に立てるのなら、自己マンでもいいですよ」

め組のユニフォームである青いジャンパーには、被災者からの感謝の言葉が書かれている。「石巻の人たちのことはずっと気になります。これからも時間を見つけては出向きたいです」。本格的な復興支援はこれから本番。ジャンパーは、書ききれないほどの言葉で埋め尽くされていくことだろう。

～第10回(平成22年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生と読書

学部生の
読書離れが進む

附 属図書館の利用頻度が前回調査(平成20年度)よりも低下しており、学部生は「月1、2回程度」と「ほとんど利用しない」で全体の3分の2を占めている。利用目的は「パソコンの利用」「図書館資料の利用」「自習場所として利用」の順で、図書館資料の利用以外の用途が増えている。

また、学部生の月平均の読書冊数は「読まない」と「1〜2冊」を合わせると84%に上る。若者の活字離れが叫ばれて久しいが、兵教生も例に漏れずといったところ。本の入手方法でも「買う」が48%で、「図書館で借りる」は14%にとどまり、図書館の利用頻度の低さを裏付ける結果となった。

また、学部生の月平均の読書冊数は「読まない」と「1〜2冊」を合わせると84%に上る。若者の活字離れが叫ばれて久しいが、兵教生も例に漏れずといったところ。本の入手方法でも「買う」が48%で、「図書館で借りる」は14%にとどまり、図書館の利用頻度の低さを裏付ける結果となった。

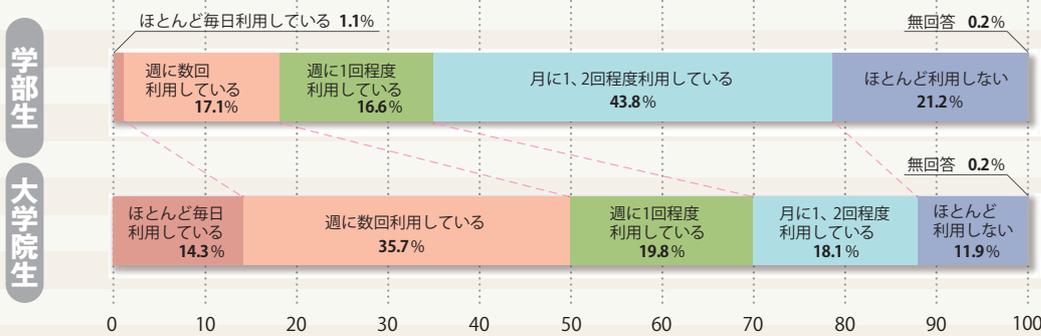
学生の「あの本が読みたい」という要望に応えるため、カウンターに「図書購入請求票」を置いています。一般に流通している本ならば取り寄せられるので、利用してください。数カ月ごとにテーマを変えて図書を紹介する「Bookギャラリー」も開催しています。本をたくさん読むことで教養が高まるのはもちろん、人生に大きな影響を与えてくれる一冊にも出会えます。附属図書館としても、皆さんの読書欲をそそぐ多彩な企画を考えていきます。

ふじ かわら かつ ひこ
藤原克彦
学術情報課課長補佐



附属
図書館から

附属図書館の利用頻度



読書の
味わい

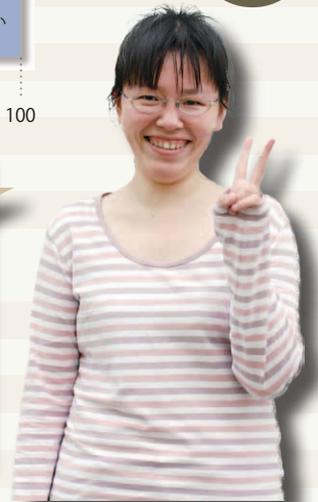
読書の
ススメ

私は小説など“文字だけ”の本が苦手でした。しかし、登場人物や風景を想像すると、話が何倍にも面白く、「これが小説を楽しむ醍醐味なのだ」と思いました。皆さんも、文字からいろいろなことを感じ想像し、物語を楽しんでください。

あさ の みな
浅野三奈さん
大学院修士課程
生活・健康・総合内容系コース2年



小学校の図書室に“本は心のゴハンです”と貼られていました。当時は、読書は心に感動や刺激を与えるという意味なのだろうと考えていました。最近、専門書とにらめっこの日々が続いていたので、気分転換に一冊の絵本を手に取りました。いなくなった父を思い続ける娘のストーリーで、2度、3度と読み返すうちに新たな気づきもありました。ゴハンとは感動したり、刺激を受けたりするだけでなく、じっくり味わうことで心の“栄養”になるのだと感じました。



たに かわあずさ
谷川梓さん
大学院修士課程
臨床心理学コース2年

1カ月の平均読書冊数(雑誌を除く)



温かいメロディーと歌詞が 心に染み渡ります

ミ スチルを好きな理由は
三つあります。まず、
ボーカルの桜井和寿さんの歌
のうまさです。次に曲調がバ
ラエティーに富んでいる点、
三つ目は桜井さんの書く歌詞
です。テーマは人間の喜怒哀
楽や恋愛、人生観など幅広く、
どの言葉も心に響きます。
一番のお薦めは平成12(2
000)年に発売されたシン
グル「口笛」です。どことなく
切なく、でも温かいメロ
ディーと歌詞は心打たれます。
今までミスチルにさほど興味
のなかった人も、一度じっくり
りと聴いてほしいですね。



Mr.Children「口笛」
TOY'S FACTORY 1,020円

たけ なお き
高直樹さん
学校教育学部
学校教育系コース4年



衝撃的なオープニングから ハラハラドキドキの連続です

昨 年、問題作として注目
されました。先に見た
友達の評判が良く、もともと
主演の松たか子さんは好きな
女優の一人でしたので、映画
館に行きました。見終わった
直後の率直な感想は、すごく
気分が重たくなりました。
テレビCMの予告などで
知っている人も多いと思いま
すが、物語は衝撃的な告白か
ら始まり、その後、ハラハラ
ドキドキ、緊張感あふれる場
面が次々と続き、ぐいぐいと
引き付けられました。映画の
ジャンルはサイコサスペンス
スリラーというものでしょう
か。近いうちに原作本も読ん
でみたいと思います。

み やけ あや か
三宅彩香さん
学校教育学部
総合学習系コース3年



「告白」
「告白 DVD特別価格版」東宝 2,940円

ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、
行きつけのスポットや思い出の一冊。
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。

谷崎潤一郎「細雪」
新潮文庫



ヨウ ライ
楊蕾さん
大学院修士課程
言語系コース2年



しろ しまりようすけ
城嶋亮佑さん
大学院修士課程
社会系コース2年



アベニュー・ド・ラペ
小野市中島町363-1 ☎0794-63-1355
9:30~19:30(水曜休)
<http://www.avenuede-lapaix.co.jp>

大 阪船場の四姉妹が繰り
広げる物語。美人なの
に30歳を過ぎても縁談がま
まらない三女雪子。対照的に
自由奔放に恋愛を楽しむ四女
妙子。婿養子の夫と芦屋で暮
らす有閑マダム次女幸子は
谷崎の妻、松子がモデルだそ
うです。
幸子夫婦は雪子の縁談に奔
走し、妙子が起こすトラブル
に手を焼きます。観桜、月見
蛸狩りなど四季折々の行事を
通して、四姉妹それぞれの美
しさが描かれています。全編
を通じて会話が大阪弁で書か
れており、関西人にはなじみ
やすい作品だと思います。

小 野市にある洋菓子店で
す。オーナーでパティ
シエの河島正吾さんは、フラ
ンスに留学後、東京の有名
店「オーボンヴェータン」で
約2年半の修業を積んで開店
しました。その経験が生かさ
れて、素晴らしいケーキが生
み出されるのでしょうか。どの
ケーキも本当においしく、北
播磨でナンバーワンの洋菓子
店だと思っています。
店名はフランス語で「平和
で安らかな通り」という意味
です。イトインスペースも
あります。おいしいケーキで
安らかな時間を過ごしてみ
ませんか。

四姉妹が繰り広げる しっとり美しい物語

フランス仕込みの ケーキは絶品です

三草ジュニアバレーボールクラブ

うれしの
交差点

兵庫教育大学と地域の交流ページ

練習を見守る監督の臼井さん(左)と田中さん↓



コーチとしての成長が チーム力の強化につながる

加 東市立三草小学校
の女子児童で結成
する「三草ジュニアバレー
ボールクラブ」は地元大会
の常連。週2回の練習に
は、兵教大男子バレーボー
ル部の田中瞭さん(生活・健
康系コース3年)とマネー
ジャーの上木里香さん(学
校心理系コース4年)が指
導に向いている。

夕方6時半。田中さんの前に子どもたちが横一列に並び、真剣な面持ちで練習内容に耳を傾ける様子に、監督の臼井崇さんは目を細める。「子どもらにとって、田中コーチは頼れるお兄さんという存在ですね」

チームの監督には6年生の保護者が就くのが慣例。しかし、バレー経験がなければ指導は難しいことから、8年前、兵教大の男子バレー部にコーチを依頼。田中さんは昨年7月に先輩から引き継いだ。「プレーヤーとして、一人でも多くの子がバレーに興味を持つ機会になるのならと引き受

けました」

自分がバレーを始めたころのような練習を課せば大丈夫だろう。そんな漠然としたイメージは初日で崩れた。「僕は中学でバレー部に入りましたが、年齢や男女の筋力の差は結構大きいなど。パスやレシーブといった基本を身に付けるまでに、意外と時間がかかると思いました」

戸惑う新コーチを支えてきたのが上木さんだ。1年生の時からアシスタントとして同行している彼女は、田中さんと一緒に練習メニューを考えるとともに、子どもたちのメンタル面のサポート役も担う。「男性コーチでは女の子の気持ちなど気づきにくい部分もあるので注意深く見ています」

試合が近づけば紅白戦なども取り入れるが、通常は基本練習が中心。田中さんは正確なコントロールで強いボールを打ち続け、子どもたちは必死で拾う。時折、手を止



練習は水曜夜と土曜の朝～夕。土曜は部活を終えて午後から指導しているという↑

うれしの掲示板

教材文化資料館平成23年度前期展 嘉納治五郎に学ぶ—体育の継承と発展—

柔道の創始者で、優れた教育家でもあった嘉納治五郎の教育理念に焦点を当て、近代日本における体育思想の生成と展開、その継承と発展を検証します。柔道をはじめとする武道の世界的なスポーツ競技化と、本来の武道が有する豊かな文化性の関係を見つめ直し、体育とはどうあるべきかを考えます。

展示は本学教員の監修による二部構成で、筑波大学や講道館、京都市学校歴史博物館などからも資料を取り寄せました。前章「体育のはじまり—明治の体操—」では、明治初期の普通体操やスウェーデン体操の再現アニメ、実写動画



どの資料から「体操」の歴史をたどります。後章「嘉納治五郎と体育」では嘉納治五郎が残した言葉や教育理念を解説し、今後の体育授業を考えるうえで参考になる資料を並べています。

開催期間／8月30日④まで

場所／教材文化資料館(附属図書館内)

平日8:30～22:00、土曜9:00～17:00、日曜・祝日13:00～17:00

※8月の土曜、日曜は閉館。開催期間は変更する場合がありますのでホームページでご確認ください

📍兵庫教育大学教材文化資料館 ☎0795・44・2362

公開講座の受講生を募集

教員養成大学の特色を生かした講義内容で、皆さんの多様な学習意欲にお応えします。

📅=開講日時 📍=場所 対=対象 定=定員 ¥=受講料 ㊟=締め切り

水あそび教室

水中での鬼ごっこやマット遊びなどを楽しめます。

📅 7月30日④14:00～16:00

📍 加東キャンパス

対 小学5、6年生※25メートル以上泳げること

定 20人

¥ 無料

㊟ 7月19日④まで(先着順)

絵画制作

絵画の制作(人物画と静物画)を通して画法や画材の知識を深め、表現、創作の楽しさを味わいます。

📅 9月17日④18日④24日④25

日④(全4回)13:00～18:00

📍 加東キャンパス

対 一般

定 20人

¥ 8,500円

㊟ 8月31日④まで(先着順)

アメリカ文学とアメリカン・ドリーム

スタインベックやフィッツジェラルドら20世紀のアメリカの文学者たちの作品を通して、アメリカン・ドリームについて検討します。

📅 9月24日④13:00～14:30

📍 神戸サテライト

対 一般、現職教員

定 30人

¥ 無料

㊟ 9月12日④まで(先着順)

©申し込み・問い合わせ

兵庫教育大学地域交流推進センター

☎0795・44・2053 ☎0795・44・2320

✉office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

た なかりょう
田中 瞭さん
生活・健康系コース3年

う え き り か
上木 里香さん
学校心理系コース4年

↓上木さんは主に新入部員を指導。バレー独特の動きを身に付けさせる



めて身振り手振りでアドバイスする。コーチになって1年。最近は声を掛けるコツをつかんだと話す。「分かった？」と聞くのはタブーです。子どもは自信がなくても遠慮して『はい』と答えますから。十分に理解しているかどうか、表情やしぐさをちゃんと見ないとはいけません」

子どもに対する観察力は兵教生ならではのと田井さんは言う。「子どもをよく見てくれています。練習後に『元気がなさそうでしたが、学校で何かありましたか』と保護者に尋ねたり。そのあたりはさすがですね」

チームの目標は、昨年全日本優勝した東条ジュニアバレーボールクラブに市の大会で勝利すること。今のところ練習試合では1勝1敗という。「勝つ喜びを味わわせてあげたい。子どもたちの力を引き出せるよう、しっかり指導していきたい」。

力強い口調には、指導者としての自信の深まりとチーム力への確かな手応えを感じさせた。

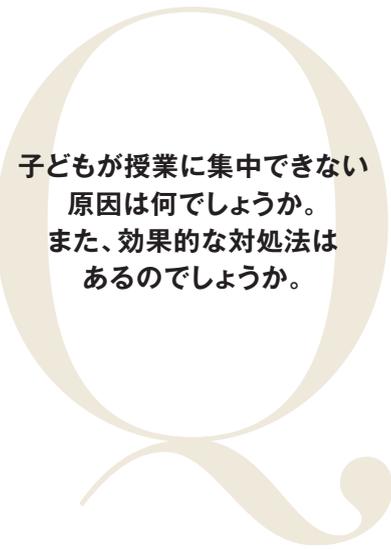


↑「一人でも多くの子が中学、高校とバレーを続けてくれたら」と田中さん



こばやし さよこ
小林小夜子

学校心理・発達健康教育コース教授



子どもが授業に集中できない原因は何でしょうか。また、効果的な対処法はあるのでしょうか。

授業に集中できない原因として子ども自身、教員、さらに音や光、気温や湿度といった外部環境などが挙げられます。

子ども自身に原因がある場合、食事や睡眠といった生活リズムに由来するもの、興味関心に関するもの、課題の困難さに由来するものなどが考えられます。教員が原因の場合は、教材研究の不備に由来するもの、声の大きさや板書の仕方など教員としての資質能力に由来するものなど、いわゆる「授業力」に関することが考えられます。そして、意外に忘れがちなのが外部環境です。室温に着目した教室環境と学習効果に関する研究では、学習効率は相対的に高温側より低温側で低下する傾向が確認されています。換気



や過ごしやすい衣服、体温調整のための工夫など、教室環境を整えることも授業に集中させるための対処法として挙げられます。

最後にクラス全体を集中させるための具体的対処法の一つとして、幼児教育で用いられている方法を紹介します。にぎにぎしい保育室にあって、子どもたちはピアノなどの合図で定位置に着き、目を閉じます。保育者は子どもの落ち着き具合を見計らって、曲に合わせて出席を取り、曲調を

変化させながら子どもたちには静けさを取り戻させたとところで目を開かせ、活動を開始します。

目を閉じて静かに開始を待つという方法は幼児期の子どもたちにも非常に効果的です。小中学校でもふさわしい実施方法に変えて試されることをお勧めします。

※日本建築学会九州支部研究報告(49, 413, 416)より。
佐々木英幸、伊藤一秀、須藤美音(2010年)

キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

安原一樹准教授に
社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)
神戸市の社会教育活動を推進



昨年12月、安原一樹准教授(心の教育実践コース)が、文部科学省の平成22(2010)年度社会教育功労者表彰を受けた。同表彰は、地域における社会教育活動を推進するため、多年にわたり社会教育の振興に功績のあった者をたたえるというもの。安原准教授は神戸市社会教育委員会議委員(議長)として、神戸市の社会教育・生涯学習の推進に貢献。また、神戸市教育振興基本計画の策定に参画したことも高く評価された。

学校支援カウンセラーの
チームを結成し
岩手県の被災地へ

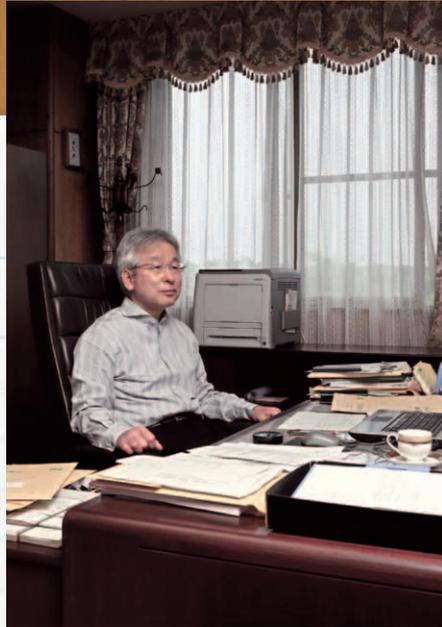
東日本大震災の支援活動として、臨床心理学コースの富永良喜教授と市井雅哉教授をスーパーバイザーに、臨床心理士の資格を持つ本学教員、修了生による学校支援カウンセラーチームを3組編成。岩手県教育委員会の「スクールカウンセラー緊急派遣事業」に参画し、5月9日から6週間、大船渡市の小中学校6校でセルフケアの伝達や教職員のサポートなどの支援活動に取り組んでいる。



浅川潔司教授に
兵庫県功労者表彰
不登校支援などに尽力



5月3日、浅川潔司教授(学校心理・発達健康教育コース)が井戸敏三知事から平成23(2011)年兵庫県功労者(教育功労)に表彰された。この表彰は、県内の教育振興に顕著な実績を挙げ、広く県民の模範となるべき者をたたえるもの。浅川教授は昭和50(1975)年から発達心理学の領域の研究を開始。10年以上にわたって、県内の公立中学校や県立高校のカウンセラーを務め、不登校児童生徒の回復支援や生徒の学校生活の支援に尽力した。



東日本大震災 被災者への 本学の支援

3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々に対して哀悼の意を表すとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。被災地の子どもたちに、一日も早く笑顔が戻ることを願っております。

兵庫教育大学では、在学生と卒業生・修了生の安否をいち早く確認するとともに、被災地への支援を行っています。募金による本学の児童・生徒・学生、教職員、PTAからの約130万円、吹奏楽部によるチャリティーコンサートの収益金などを義援金として寄付しました。

地元加東市と協力して、学生や教職員のメッセージを記したこいのぼりを多数送りました。被災地の人々や子どもたちの元気喚起になることを願ってのものです。学生の中には、早くから自発的にNPO等に参加して、被災地にボランティアとして赴いている者もおります。その報告会を催しましたが、被災地の惨状のリアリティを痛感するとともに、ボランティア学生の「たくましさ」に希望と誇りを見出したりもしました。

特筆すべき支援活動としては、富永良喜教授をはじめとする臨床心理を専門とする教員と修了生が、「チーム兵庫教育大学」として岩手県の学校で子どもたちの心のケアや教職員の研修に当たっていることがあります。阪神・淡路大震災以降、大災害後の子どもの心のケアが注目されるようになりました。本学はその研究と教育に精力的に取り組んできており、その成果が生かされているわけです。

被災地支援は大学としての当然の責務であることはいまでもありませんが、学生・教職員の学びの機会でもあります。

支援活動は長期的に行う必要があります。臨床心理士チームを継続的・定期的に派遣するとともに、今後も教員養成大学の特性を生かした支援を行うべく、児童・生徒の遊びや学習の支援プログラムを作成して、学生チームを夏休みなどに派遣することを予定しています。

かじさてつや
学長 加治佐哲也

兵庫教育大学 からの お知らせ



平成24年度 学校教育研究科学生募集

24(2012)年度の入学生(修士課程200人、専門職学位課程100人)を前期と後期に分けて募集します。

修士課程

◎募集人員 前期152人 後期48人

◆人間発達教育専攻		クラス	前期	後期
教育コミュニケーションコース	昼間		8人	2人
	夜間		若干人	若干人
幼年教育コース	昼間		8人	2人
	夜間		若干人	若干人
学校心理・発達健康教育コース	昼間		10人	5人
	夜間		若干人	5人
臨床心理学コース	昼間		25人	—
	夜間		—	15人
◆特別支援教育専攻				
障害科学コース	昼間のみ		18人	2人
特別支援教育コーディネーターコース	昼間のみ		8人	2人
◆教育内容・方法開発専攻				
認識形成系教育コース	社会系教育分野	昼間	14人	3人
		夜間	若干人	若干人
	自然系教育分野(数学、理科)	昼間	15人	3人
		夜間	若干人	若干人
文化表現系教育コース	言語系教育分野(国語、英語)	昼間	18人	2人
		夜間	若干人	若干人
	芸術系教育分野(音楽、美術)	昼間	12人	3人
		夜間	若干人	若干人
行動開発系教育コース	昼間	16人	4人	
	スポーツ健康系教育分野(保健体育) 応用生活系教育分野(技術・家庭、工業、情報)	夜間	若干人	若干人

専門職学位課程(教職大学院)

◎募集人員 前期86人 後期14人

◆教育実践高度化専攻		クラス	前期	後期
学校経営コース	昼間		20人	若干人
	夜間		若干人	若干人
授業実践リーダーコース	昼間		25人	5人
	夜間		若干人	若干人
生徒指導実践開発コース	昼間		16人	4人
	夜間		若干人	若干人
小学校教員養成特別コース	昼間のみ		25人	5人

※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパス、夜間クラスは主に神戸サテライト(神戸市中央区)で開講します。

前期選抜試験

- ◎出願期間 7月15日◎～22日◎(消印有効)
- ◎試験日 8月20日◎(筆記・口述)
※筆記・口述の両方を受験する人が対象
8月21日◎(口述)
※口述のみを受験する人が対象
- ◎合格者の発表 9月9日◎10:00

後期選抜試験

- ◎出願期間 10月7日◎～14日◎(消印有効)
- ◎試験日 11月12日◎(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 12月2日◎10:00
- ◎入試課 ☎ 0795-44-2067

☎=問い合わせ先 ☑=申し込み先

大学院学校教育研究科 説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談の時間も設けます。

[神戸市総合教育センター]

◎日時 7月9日◎13:30～

[加東キャンパス]

◎日時 9月3日◎13:30～

[梅田スカイビル タワーウエスト]

◎日時 9月10日◎13:30～

[AP品川京急第2ビル]

◎日時 9月10日◎13:30～

[神戸国際会館]

◎日時 9月17日◎、10月1日◎いずれも13:30～

☑☑入試課

☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069

☑ office-nyushi-k@hyogo-u.ac.jp

教職大学院公開授業及び 研究会

専門職学位課程(教職大学院)の授業の実際を紹介するとともに、教育内容・方法の実践性や有用性について検証と提案を行います。参加無料。

◎日時 6月25日◎10:30～16:40(受付10:00～)

◎場所 三宮研修センター(神戸市中央区)

◎内容 研究会(パネルディスカッション)「教職大学院の学びから学校現場の実践へ」、公開授業、ポスターセッション、講演「今後の教員養成の在り方と教職大学院への期待」/須原愛記さん(文部科学省高等教育局大学振興課専門官(併)教職大学院係長)、講演「教員養成・研修の改革と教職大学院の役割」/加治佐哲也学長

☑☑教育支援課

☎ 0795-44-2322, 2356

☎ 0795-44-2039

☑ aca-kokai@hyogo-u.ac.jp

平成23年度 学校教育学部 オープンキャンパス

受験生や保護者、高校の進路指導担当者などを対象に開催します。

◎日時 7月17日◎11:00～16:00(受付10:30～)

◎場所 加東キャンパス

☑入試課

☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069

☑ office-nyushi-k@hyogo-u.ac.jp

編集後記

東日本大震災で被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。また、お亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表します。私たち一人一人の力は小さくとも、それぞれが心を一つに可能な貢献をしていけば、それは復興に向けての大きな国民的パワーになるものと信じます。まずは、自分にできることから! さて、2年ごとの「教育子午線」の誌面リニューアル。編集の基本コンセプトを確認し、読者アンケートの結果を踏まえ、新しい発想による誌面構成と記事内容について議論を重ねました。第26号は生まれ変わった姿です。親しみやすさ、読みやすさ、内容構成はいかがでしょうか。ご感想をお聞かせください。(あ)
※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページをご覧ください。

◎あなたの声を 聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりをめざしています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方には、オリジナル・シャープペンシルを進呈します。

●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学企画課広報・社会連携事務室
☎0795-44-2334
☎0795-44-2009
☑ office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

June, 2011
vol. 26



第26号 2011年6月発行
発行/国立大学法人
兵庫教育大学 大学広報室
http://www.hyogo-u.ac.jp
編集協力/㈱神戸新聞総合印刷

兵庫教育大学
携帯サイト
入試情報は
携帯でもチェック
できます。

